

年末年始の業務案内

市役所は一部業務を除いて
年末は27日(金)まで 年始は6日(月)から

下記の業務を除き、年末は12月27日(金)まで、年始は1月6日(月)から業務を行います。なお、土曜日開庁窓口(市民窓口課、七生支所、豊田駅連絡所、納税課、保険年金課、市民相談窓口、市政図書室)および土曜・日曜日を開館日とする施設などは、年末は12月28日(土)まで、年始は1月4日(土)から業務を行います。月曜日を閉館日とする施設などは、1月6日(月)の業務は行いません。

●市内全図書館(市政図書室を除く)

1月4日(土)は休館します。

●生活・保健センター(貸室)

1月4日(土)は休業します。

●健康サポートルーム輝

12月28日(土)は施設整備のため休業します。

●東部会館

1月4日(土)は休業します。

●市営火葬場・南多摩斎場

施設名	12月28日(土)	29日(日)～30日(月)	31日(火)	1月1日(祝)～3日(金)	4日(土)
市営火葬場	友引のため休業	通常業務	13:00まで	休業	通常業務
南多摩斎場	告別式・火葬業務は休業	通常業務	通夜業務のみ休業	休業	告別式業務のみ休業
電話受付・霊安室業務は通常通り実施					

出生などの届け出

年末年始の休業中、出生・婚姻・死亡などの届け出は、市役所1階守衛室で受け付けます。



年末年始の診療

緊急の場合には、休日診療医や救急病院で診療を行っています。事前に診療科目をお問い合わせください。診療医などは14面「保健・医療」の欄でお知らせしています。

年末年始のごみ収集・資源物回収

年末年始のごみ収集や資源物回収の日程は、4面でお知らせしています。

広報ひの1月1日号は12月26日(木)から配布します

広報ひの1月1日号は年内中に配布します。万一届かない場合は右記までご連絡ください。
 12月31日(火)まで 10:00～17:00
 1月1日(祝) 10:00～15:00
 2日(木) 休業
 3日(金)以降 10:00～17:00
 ☎ 日野市新聞組合 ☎514-8171
 FAX 514-8099

表紙の人

日野市消防団が第49回東京都消防操法大会で優勝

☎ 1013110 ☎ 防災安全課 ☎514-8962

11月16日に開催された第49回東京都消防操法大会に、南多摩地区の代表として日野市消防団が出場しました。この大会は、消防活動の充実や消防技術の向上を目的とし、水槽からの給水、火災現場を想定した放水および資機材の撤収までの一連の動きの機敏さや正確さを競うものです。日野市消防団では、豊田・東豊田・旭が丘・川辺堀之内地区を担当する第四分団が出場し、約1年間以上にわたる訓練の成果をみせ、見事優勝に輝きました。



大会での操法の様子

大会を振り返って

出場隊指揮者(第四分団第二部部長)黒田 英揮
 訓練は昨年10月から各自仕事が終わった夜に集まり行いました。

大会当日、緊張はありましたが、繰り返し行ってきた規律や動作が体に染みついており、成果を発揮することができました。

“優勝”という結果に対しては、正直なところうれしさよりも安堵感が強かったです。

大会に向けてご協力をいただいた地域の皆さま方、日野消防署、近隣他市の消防団の皆さま、そして日野市消防団の仲間とご家族に心から感謝しています。

今大会の結果を受けて、来年度開催予定の「第27回全国消防操法大会」に東京都代表として出場いたします。新たな目標に向かい始動しますが、根本的な防災活動は引き続き地域の安全安心のために頑張っていきたいと思います。何とぞご理解とご協力をお願いいたします。



▲黒田英揮部長

国保データヘルス 微量アルブミン尿検査の実施状況をお知らせ

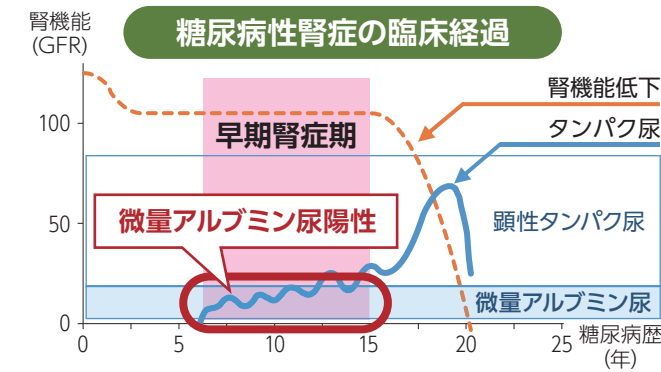
微量アルブミン尿検査の結果が糖尿病性腎症の早期発見と治療開始につながっています

ID 1013126 ☎ 保険年金課 ☎514-8276

市が平成29年2月から実施している微量アルブミン尿検査は、糖尿病性腎症(糖尿病の合併症の一つ。重症化すると人工透析が必要となるなど、生活の質が低下する)などの病気によって腎臓の細い血管が傷つき始めた初期の状態(早期腎症)を診断できる検査です。早期腎臓障害は自覚症状がないため、検査で早期に発見することが重要です。

この検査の対象者は、国保被保険者で前年度の特定健診

の結果から、HbA1cが6%以上かつ、尿タンパクが出ていない(－)またはわずかに出ている(±)方です。HbA1cの医療機関受診勧奨値は6.5%以上ですが、6～6.5%未満の方も放っておくと糖尿病と診断される状態に発展するおそれがあります。このことから市は、正常値の中でも少し高め6～6.5%未満を含め、検査対象としました。これまでの実施状況をお知らせします。

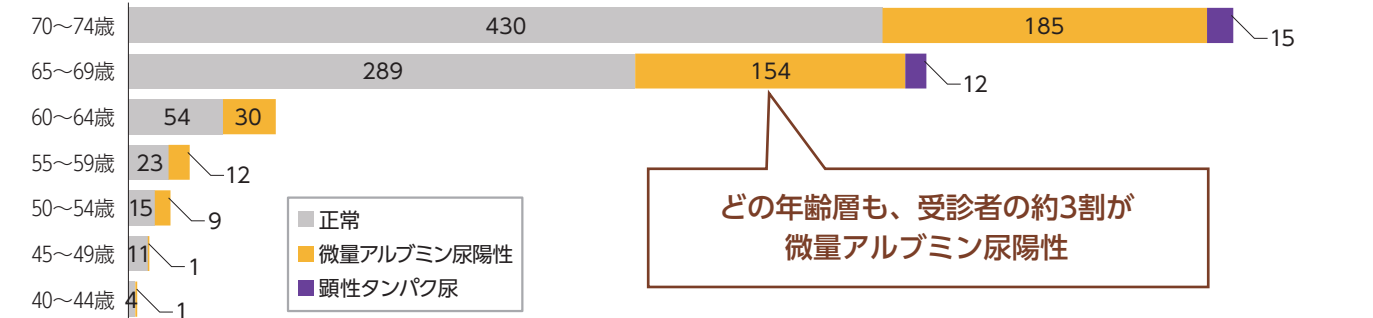


糖尿病性腎症の分類

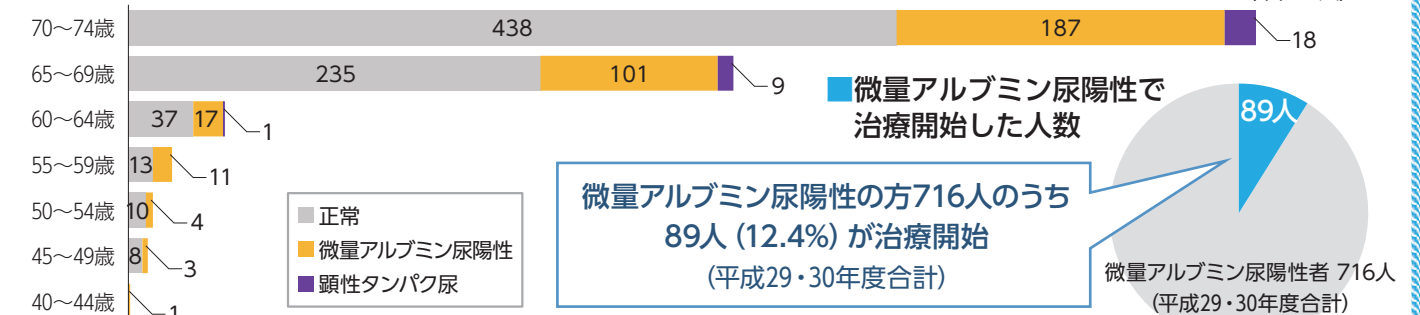
第1期(腎症前期)	糖尿病以外の自覚症状はなく、検査をしても腎症であることを診断できない状態です。
第2期(早期腎症期)	尿中に微量のアルブミンというタンパク質が検出されます。自覚症状はほとんどありませんが、血圧が高くなる傾向があります。
第3期(顕性腎症期)	尿中にタンパク質が出て、腎機能が低下していきます。
第4期(腎不全期)	腎臓の糸球体で血液がろ過されず、老廃物が血液中にたまり尿毒症の症状が出てきます。また、低血糖を起こしやすくなります。
第5期(透析療法期)	腎臓の機能がほぼなくなり、慢性透析療法が導入される時期をいいます。予後は良くありません。

微量アルブミン尿検査結果(5歳刻み)

■微量アルブミン尿検査結果(平成29年度)



■微量アルブミン尿検査結果(平成30年度)



2年間の検査結果から

平成29・30年度の微量アルブミン尿検査受診者2,338人のうち、微量アルブミン尿が陽性の方は716人(30.6%)で、このうち89人(受診者の3.8%、陽性者の12.4%)の方を治療につなげることができました。

治療を開始した方の治療開始時のHbA1cの数値を分析したところ、半数以上が医療機関受診勧奨値の6.5%より低い方であることがわかりました。より精度の高い同検査を実施することにより、特定健康診査では正常と判定される方の中から、糖尿病性腎症(第2期)の症状を早期に発見し、早期治療につなげることができました。

今後、治療を開始された方のHbA1cなどの数値の分析を進め、同検査の成果を公表していきます。